



お品書き
【その壹】CODEレター VOL.16
【その貳】プロジェクトNEWS

以上

Letter
2004.6.7 VOL.16

CODE海外災害援助市民センター発行
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL : 078-578-7744 FAX : 078-576-3693
e-mail info@code-jp.org URL <http://www.code-jp.org/>
郵便振替 : 00930-0-330579

2004年度総会報告

去る5月17日(月)神戸YMCAにて2004年度総会が開催されました。昨年12月に特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、初めての総会です。

議案である2003年度の事業報告・決算、2004年度事業計画・予算について審議が行われ、すべて承認されました。また、新たに副代表理事として神戸YMCAの水野雄二総主事の就任も承認されました。

2004年度の主な事業を簡潔にご紹介させていただきます。

災害救援活動として、イラン地震支援、アフガニスタン支援など継続支援中の救援プロジェクトは、引き続き取り組み、災害が発生次第、随時救援活動を立ち上げていきます。

セミナー・勉強会として、NGO各分野の講師を招き、NGOについて考え学ぶ『NGOことはじめセミナー』や、神戸市内にある国際機関を訪問する『HAT神戸 国際機関訪問ツアー』を行います。

また2004年度は、震災10周年を迎え被災地KOBEでは様々な周年行事が行われます。CODEでは12月に、市民とNGOの『防災』国際フォーラム、来年1月には国連防災世界会議などの運営に積極的に参画していきます。

最後に、当センターの運営は、みなさまからの会費やご寄付、助成金などから成り立っております。CODEは発足し2年が経ちましたが、財政面につきましては、正直なところ未だ盤石とは言えません。今後ともみなさまからのご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。

<2004年度運営体制>

- 代表理事** : 芹田 健太郎 神戸大学名誉教授/愛知学院大学教授
- 副代表理事** : 室崎 益輝 神戸大学名誉教授
- 副代表理事** : 水野 雄二 (財)神戸YMCA総主事
- 理事** : 黒田 裕子 (特)しみん基金KOBE理事長
- 理事** : 島田 誠 アートサポートセンター神戸代表
- 理事** : 西 正興 (株)ユーハイムコンフェクト相談役
- 理事** : 野崎 隆一(特)神戸まちづくり研究所事務局長
- 理事** : 秦 正雄 生活協同組合 コープこうべ常勤理事
- 理事** : 榎木 恵子 (特)関西NGO協議会事務局長
- 理事** : 藤野 達也 (財)PHD協会総主事代行
- 理事** : 松本 誠 市民まちづくり研究所所長
- 理事** : 村上 忠孝 村上環境住宅研究所代表
- 理事** : 吉富 志津代 多言語センターFACIL代表
- 監事** : 中川 和之 (株)時事通信社
- 監事** : 飛田 雄一 (財)神戸学生青年センター館長
- 理事兼事務局長** : 村井 雅清 被災地NGO協議センター代表
- 事務局スタッフ** : 斉藤 容子
: 福田 典男

本年度もよろしく願い致します！



イランの子どもたち

2003年度災害救援プロジェクト報告

イラン地震救援プロジェクト(2003年12月26日~)

2回の派遣によって、現地では子ども支援が開始された。テヘランに本部を置く「働く子どもを守る会(AHKK)」をカウンターパートとして、子どものケアセンター、女性の運動の場ともなる大型テント支援を行った。また、被災地の中心地近くにあった幼稚園「Hope of Mother」へのコンテナ支援も子ども支援として行っている。このHope of Motherへの支援はMessage from KOBEとシャンティボランティア会(SVA)との協働で支援を行った。またAHKKを通して他の5つの幼稚園に対する物資援助も行った。

2003年度寄付金 22,073,002円

アフガニスタン救援プロジェクト(2002年7月17日~)

2002年7月に立ち上げられたアフガニスタンぶどう畑再生プロジェクトは、2度目の春を迎えることとなった。現地では12月の視察時に約束をしたカレズの清掃が始まっていたことを3月の訪問で確認することができた。

また、2月の訪問時にはミールバチャコット女子学校を訪れ、女子学校での新苗作りができないかと相談した。教育省や地域担当知事とも会談し、了承を得た。3月に正式な契約書を交わした。

2003年度寄付金 5,059,848円

ぶどう基金総会員数 587人

中国ウイグル地震救援プロジェクト(2003年2月24日~)

地震発生以後、神戸華僑総会をパートナーとして、震源地に近い巴楚(バチュ)県にある倒壊した吾斯塘博依(ウスタンボイ)小学校校舎、再建支援のための募金活動と情報収集を行った。今後も継続して神戸華僑総会と連絡を取り、状況を確認していく。

2003年度寄付金 1,498,189円

トルコピングョル地震救援プロジェクト(2003年5月1日~)

地震発生後、情報収集を開始し、募金活動を展開した。地震発生当日、1999年マルマラ地震の際立ち上げた「トルコ北西部地震・緊急救援委員会」の加盟団体のメンバーが、同委員会の支援地であるデリンジェ市に入っていたため、当初予定の帰国を延長し、3日間ほどの日程で現地派遣を行った。

神戸市北区の「はたっこ太鼓」の子どもたちが、「ピングョル地震支援のためのチャリティーコンサート」を開催し、当センターも後援として協力した。

2003年度寄付金 631,294円

アルジェリア地震救援プロジェクト(2003年5月23日~)

地震発生後、情報収集、募金活動を開始した。フランス語圏ということもあり、当センター海外研究員であるフランス語が堪能なクワテモックさん(メキシコ)を調査員として、現地へ派遣した。

また1995年阪神・淡路大震災直後にアルジェリア政府からテント90張が兵庫県へ寄贈された経緯から、「HYOGO - アル

ジェリアお返しテント募金実行委員会」(実行委員長:黒田裕子/阪神高齢者障害者支援ネット)を発足、事務局を当センターが担った。兵庫県、神戸市をはじめJICA(国際協力事業団)兵庫国際センターや兵庫県立舞子高校、コープこうべなどと連携して募金活動を展開した。

2003年度寄付金 3,363,249円

これまでの活動記録4/18~5/31

- 4/20 イラン地震関係 絵画交流会打ち合わせ(人と防災未来センター)
- 4/23 イラン地震報告会 岸和田小さな友の会(土生神社) ぼたんの会 夜会
- 4/24 2004ふれあい春祭り・セリオ光の広場(ソニー生命) バンコク火災支援関係 中央親子劇場
- 5/10 イラン地震情報交換会 ALL HYOGO
- 5/11 第3次イラン現地派遣 事務局斉藤(~6/15まで)
- 5/16 ゆめ風フェスタ バンコク火災アピール イラン地震救援 現地レポート開始
- 5/17 2004年度総会
- 5/28 関西NGO協議会2004年度総会出席
- 5/31 イラン地震救援 現地レポート第8号発信

ありがとうございます4/18~5/31

会員・寄付者ご芳名(以下順不同・敬称略)

一般寄付

個人: 高橋澄枝(栃木県)三島宣彦、室崎益輝(以上東京都)井上操(滋賀県)上田敦子、七里紘子(以上大阪府)松本ミドリ(奈良県)三島一男、村上忠孝、岩畑実、平澤紅露(以上兵庫県)

団体: めふコープ委員会(兵庫県)

会員 正会員

個人: 芹田健太郎、明石和成、大谷成章、橋口文博、村上忠孝、西正興、牧田稔、飛田雄一、島田誠、草地とし子、吉富志津代(以上兵庫県)

賛助会員

個人: 旗野秀人(新潟県)吉澤近江、吉澤秀男(以上滋賀県)細谷祐司(奈良県)七里紘子、辻本英夫(以上大阪府)古川英子、宮前亨一郎、木田拓雄、宇都幸子、向直子、鎌田芳子(以上兵庫県)

団体: (有)村井新聞店(北海道)

編集・発行 CODE海外災害援助市民センター

〒652-0801 兵庫県神戸市兵庫区中道通2丁目1番10号

TEL: 078-578-7744 FAX: 078-576-3693

e-mail info@code-jp.org URL <http://www.code-jp.org/>

郵便振替: 00930-0-330579

事務局では、不要になったハガキや書き損じハガキを集めています。これらは、郵便局で手数料を払えば、官製ハガキに交換していただけます。業務の中で使用する郵便代金の削減の一環に使用させていただきます。みなさまのご協力をお願い申し上げます。

CODE プロジェクトニュース

CODE海外災害援助市民センター
〒 652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10
Tel: 078-578-7744 Fax: 078-576-3693
e-mail: info@code-jp.org
URL: http://www.code-jp.org/

イラン地震救援プロジェクト（2003年12月26日～）

去る5月11日、CODE海外災害援助市民センターの事務局スタッフである斉藤容子は、第3次イラン南東部地震調査として日本を出発しました。今回、彼女の役割はCODE4月理事会で協議および審議されたいくつかの支援プロジェクト実施に向けての現地調査であり、場合によってはプロジェクトの内定を現地の関係機関と交わすためのイラン入りでもあるため相当な重責を背負っての日々となっています。以下、現地からのレポートを編集してお伝えします。

- AHKK（働く子どもを守る会）の大型テントは大活躍 -

今回の地震以来2度目の訪問の際に、NVNAD（日本災害救援ボランティアネットワーク）や大阪大学の渥美先生や学生有志の代表等とともに、斉藤がCODEスタッフとして一緒に被災地視察をしていて、このAHKKの活動現場に出会いました。

そこですぐさま、大型テントの提供を決め有効に使っていただいています。今回斉藤が到着するなり「クーラー設置」を要望されたようで、とにかく暑いだろうということが伝わってきます。この現場のリーダーのバタニさんは、大変子どもたちに愛されていて、素晴らしい活動を展開しています。

その後、大型テントで行われている催し物に参加。30人ほどの子どもたちが目をきらきらとさせながら、劇を見たり、踊ったりして夜遅くまで騒いでいた。お菓子の早食い競争から、みんなの前で歌を歌ったり、踊ったり、またコントのような喜劇もあった。

バタニさんの登場には、子どもたちが拍手喝采で迎える。『バタニ先生のことどれくらい好き？』と司会が聞くと、口々にこれくらい、これくらいと両手いっぱい広げてみんな全身でバタニ先生大好きと表現していた。こんなに子どもの場として活用されているなら設置する支援ができてよかったと実感できた。またそれを見に来た母親たちもまた楽しそうだった。

- 「しあわせ はこべるように」がペルシャ語に！ -

阪神淡路大震災で被災した神戸の音楽の先生が作詞・作曲した「しあわせ はこべるように」という歌があります。この歌は、毎年1月17日になると市内の小学校などで唱われているそうです。今年の1月17日、CODE事務局長の村井も神戸市立港島小学校に呼ばれ、イランとアフガニスタンの報告をしてきたのですが、最後に子どもたちが村井を囲むようにしてこの「しあわせはこべるように」を合唱してくれたのですが、あの音楽音痴の村井が泣いてしまったのです。その後、口の悪い輩が「鬼の目にも涙！」と言っていました。ほんとに素晴らしい歌です。



大型テント



テント内でのイベント



バタニさん(中央)

今、イランで CODE の現地 NGO のパートナーの一人がサイード君という 27 歳の音楽の先生です。普段はテヘランで教師をしているのですが、音楽セラピーの資格ももっているようです。今回斉藤がバム入りをし、KOBE の事務局とやりとりをしている内に、「サイード君にあの ” しあわせ はこべるように ” の楽譜を送ったらどう感じてくれるかな？」と思い、楽譜と歌詞を送ってみたのです。彼は特に笛やギターが得意なようで、さっそく楽譜を見て口ずさみだしたのですが、斉藤が歌詞をとりあえず英語で訳すと泣いてしまったそうです。



日本から送られた応援メッセージの前で

バムで斉藤が拠点としているテント村でも早速この曲が流れているようで、子どもたちも口ずさんでくれています。この「しあわせ はこべるように」の歌詞をペルシャ語に訳して貰っています。訳して下さっているのは、在テヘラン 30 年の S さんという方です。

実は、この S さんには 1 月のイラン訪問から毎回大変お世話になっており、S さんがいなければ CODE もこうして順調には活動が出来なかったかも知れません。さて、話を戻しますがこの「しあわせ はこべるように」という歌は、ちょうど 10 周年を迎える被災地 KOBE のあちらこちらで、きっとペルシャ語も混じって唱われるでしょう。

バンコク・スアンブルー地区火災支援（2004年4月23日発生）

4 月 23 日に発生したタイ・バンコク市内スアンブルー地区の火災支援として 1 ヶ月間の緊急募金活動を行いました。スアンブルー地区は、CODE とも繋がりのある SVA（社団法人 シャンティ国際ボランティア会）が 1985 年から支援をしている地区で、阪神・淡路大震災時にも、この地区から寄附が届けられました。



サッカー場に作られた仮設テント(SVA提供)

SVA からの情報によると、住民たちは臨時の避難所だった近くの工業大学を追われ、焼け出された約 1,500 家族余りのうち 95 家族が近くのサッカー場でテント生活を、また約 150 家族（101 世帯）が元いた場所で焼け残った家屋に、そして残りの約 1,250 家族が親戚の家や別の場所を借りるなどして暮らしている。SVA は緊急・復興支援に関連して、様々な関係者と日々調整業務にあたっているそうです。

今回の募金活動で CODE へ寄せられた、皆さまからの寄付金・・・円は・月・日付けで、現地での活動にあたっている SVA へお送りいたしました。また、現在も募金活動を継続されております皆さまにつきましては、責任を持って随時 SVA へお送りさせていただきます。今後も SVA からの報告が入り次第お伝えしていきます。 ご協力ありがとうございました！

募金について

募金にご協力して頂ける方は、下記の郵便振替口座にて通信欄に「イラン地震支援」「アフガニスタン支援」とそれぞれ明記してください。なお募金全体の 15% を上限として事務局運営・管理費に充当させていただきます。

口座番号: 00930 - 0 - 330579

加入者名: C O D E

CODE の活動は、様々な方のご支援に支えられて行われています。すべての皆様にご報告を直接させて頂きたいのですが、物理的にも財政的にも制限があり、ホームページやメーリングリストなどを通して広くご報告させていただいております。ご理解のほどよろしくお願い致します。

当センターのホームページ <<http://www.code-jp.org>> にも同様のものをアップしております。

(以上編集：事務局)